

令和2年度 伴走型小規模事業者支援推進事業

地域経済動向調査

報 告 書

令和2年 12 月

香 春 町 商 工 会

目次

1. 地勢	1
2. 香春町の経済の現状と比較	1
3. 香春町の経済の特徴	エラー! ブックマークが定義されていません。
4. 将来人口の予想	エラー! ブックマークが定義されていません。

1. 地勢

香春町は福岡県の東北部の内陸に位置、田川市、北九州市小倉南区、田川郡赤村、同大任町、同福智町、京都郡みやこ町に接している。町内には福岡市から京都郡苅田町に至る国道 201 号線、北九州市から久留米市に至る国道 322 号線が交差しており、古くから交通の要衝として宿場町が栄えた歴史を持つ。（第 4 次香春町総合計画より一部抜粋。）

2. 香春町の経済の現状と比較

指標値

市町名	人口	事業 所数	昼間 人口	課税対象所 得(千円/人)	卸売年間販売 額(千円/人)	小売年間販売 額(千円/人)	製造品出荷 額(千円/人)	消費購買 力(百万円)
香春町	11,048	331	9,947	867	204	490	971	14,578
大任町	5,293	189	4,531	795	-	-	438	6,844
添田町	9,890	387	8,305	786	31	338	5	12,545
田川市	47,998	2,335	52,786	972	404	1,188	1,498	64,321
小倉南区	212,180	6,467	190,913	1,317	1,222	926	1,164	282,971

経済水準(偏差値)

市町名	市場規模	成長度	中心地性	富裕度	産業 中心地性	消費 購買力	都市開発 水準	総合評価
香春町	42.70	45.18	45.33	37.08	45.54	42.42	43.68	43.12
大任町	42.11	52.43	45.17	34.07	46.64	41.66	42.84	43.56
添田町	42.63	38.05	41.52	33.73	44.09	42.22	54.05	42.33
田川市	47.73	46.89	56.92	41.40	50.03	47.28	49.32	48.51
小倉南区	63.97	48.87	48.57	55.69	48.99	68.67	53.19	55.42

香春町と隣接する田川市および北九州市小倉南区との人口比は 4.3 倍、19.2 倍と大きく離されており昼間の人口や消費の部分で流出していることが予想される。また同じ田川郡の大任町、添田町を比較してみると、人口および課税対象所得ではいずれも優位にあるが、大任町には成長度、添田町には都市開発水準に関しては出遅れていることから新たな取り組みなど経済活動の活性化により力を入れていく必要を感じられる。

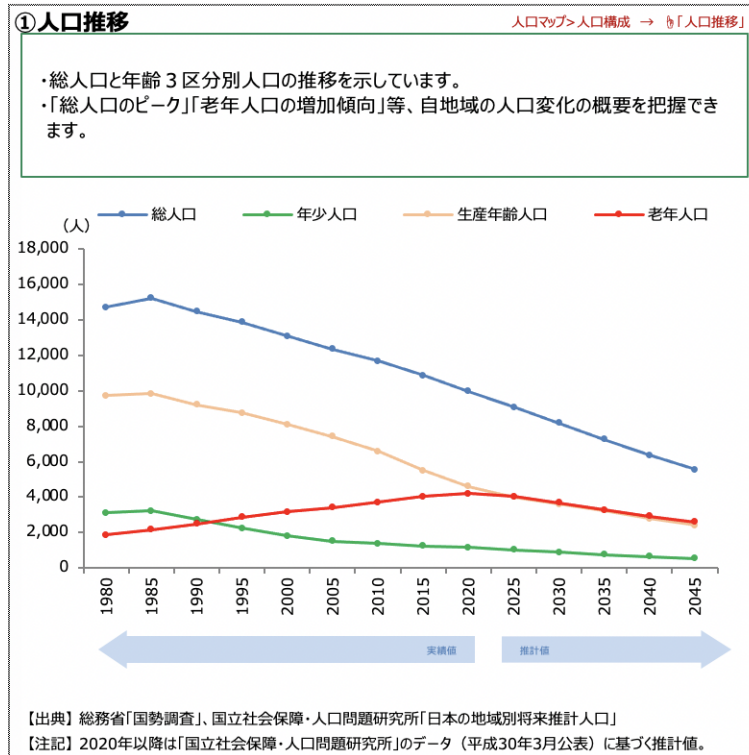
指標の説明

指標	説明
成長度	「住民基本台帳人口伸び率」「民営事業所総数伸び率」「小売販売額伸び率」「製造品出荷額伸び率」「着工建築物伸び率」の 5 指標で評価。地域の成長度が県内他地域に比較して高いか低いかを 50 を平均として判定。
中心地性	「昼夜間人口比」「小売中心地性」の 2 指標で評価。通勤通学及び、小売販売成果の面から見た他地域からどのくらい吸引しているかを評価。50 で平均であり、50 を下回ると通勤、通学、小売販売で他地域に流出していることになる。
富裕度	「人口 1 人あたり課税対象所得額」によって評価した居住者の富裕度を評価したもの。
産業中心地性	「人口 1 人あたりの卸売年間販売額、小売年間販売額、製造品出荷額」によって評価。
都市開発水準	「産業用建築物着工面積」「都市計画区域面積」の 2 指標で評価。産業面での開発度や都市計画の水準が表される。

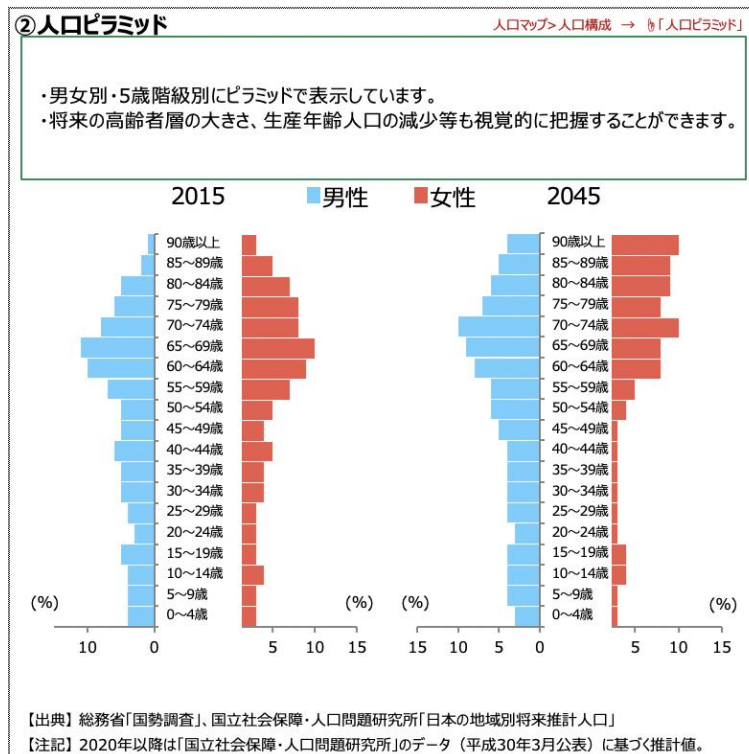
3. RESAS(地域経済分析システム)にみる香春町の状況

○人口動態

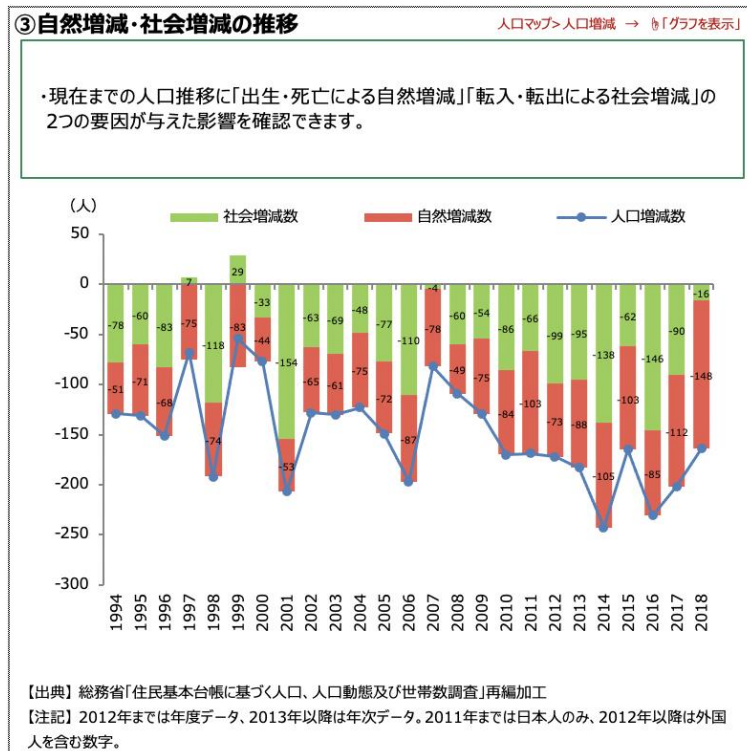
①人口推移



②人口ピラミッド



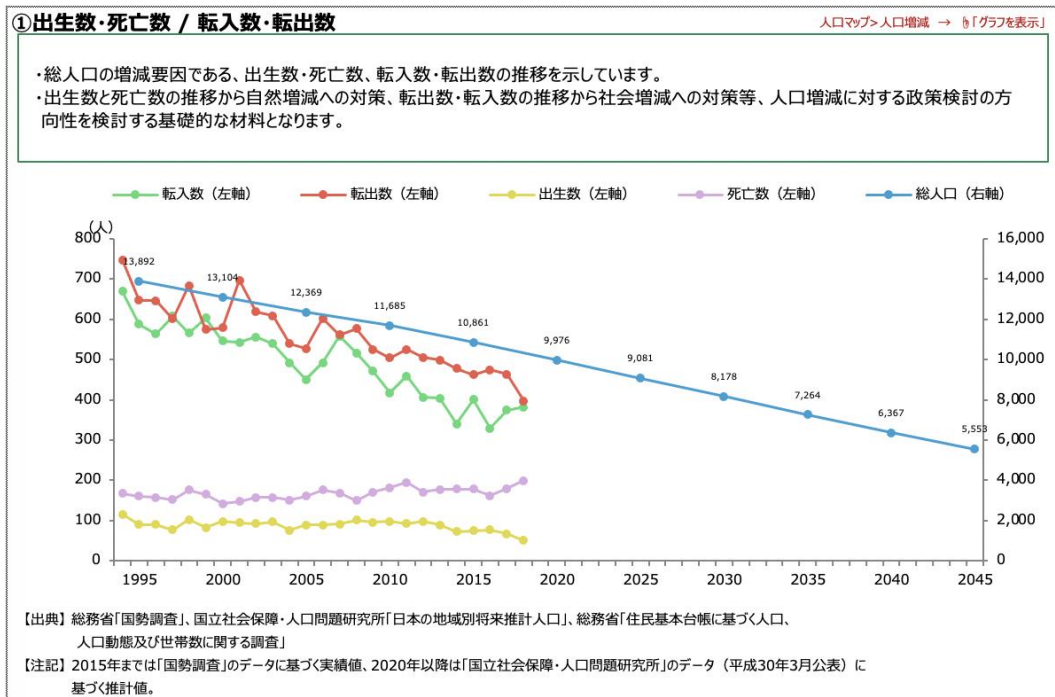
③自然増減・社会増減の推移



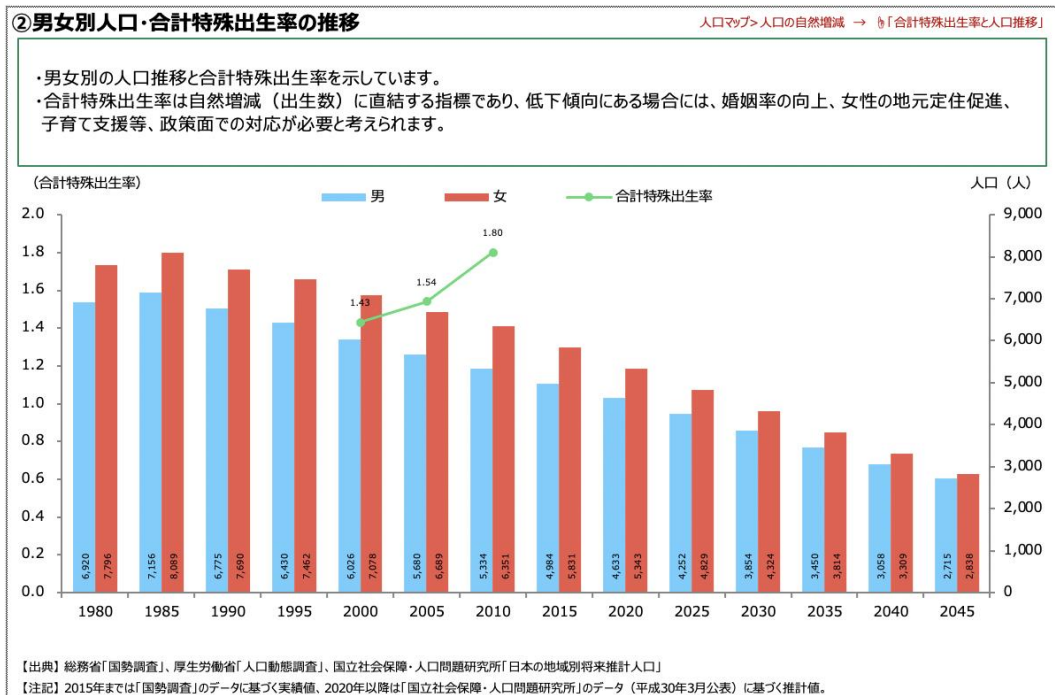
香春町は減少傾向が続き、少子高齢化が進んでいる。人口減少に伴い2020年をピークに高齢人口も減少に転じる予測である。人口ピラミットの2045年予測値として20～40代の女性が激減し、80代以上の女性が激増するアンバランスな人口構成が予想される。周期的に社会増減数が減ることがあるが、近年はそれに増して自然増減は大幅減へ振れていることが人口減少の特徴と言える。

○人口増減

①出生数・死亡数/転入数・転出数

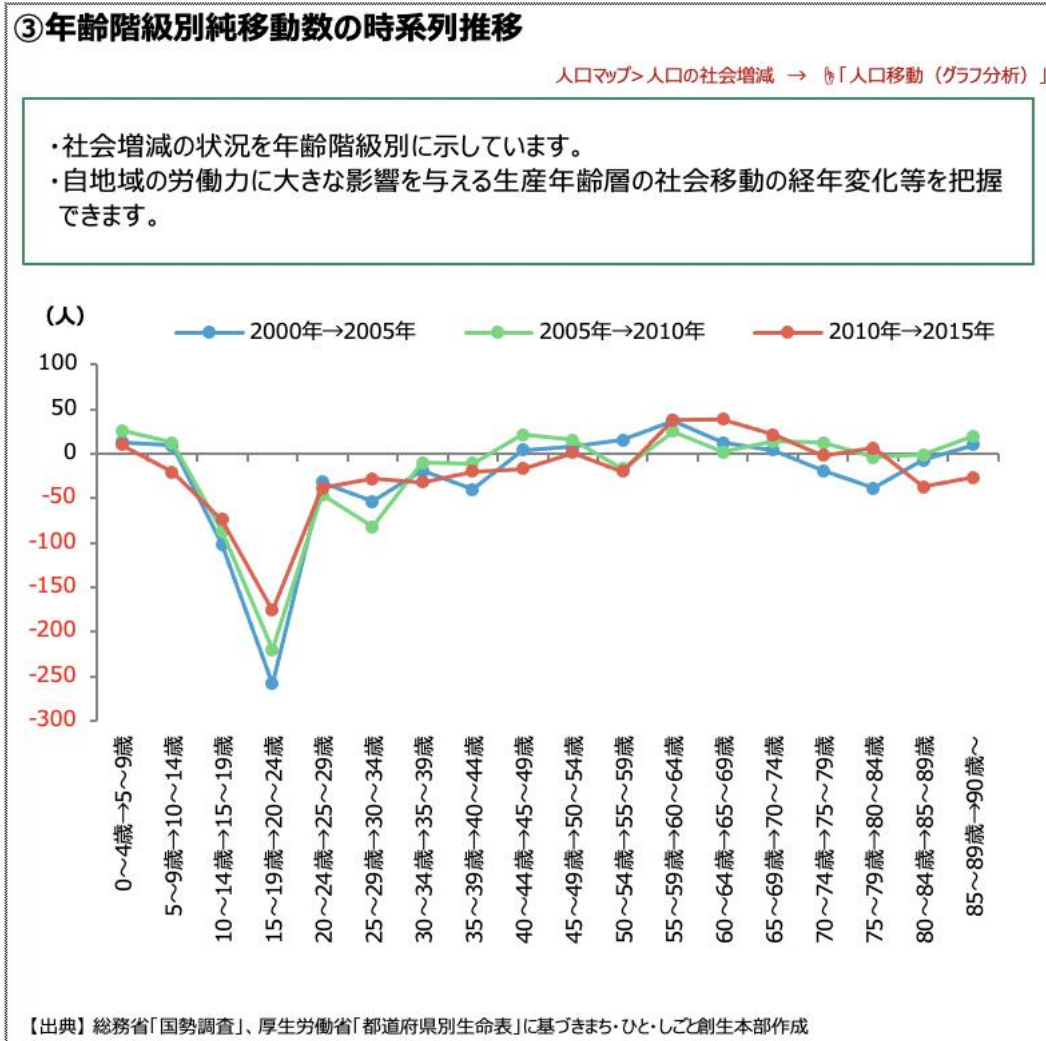


②男女別人口・合計特殊出生率の推移



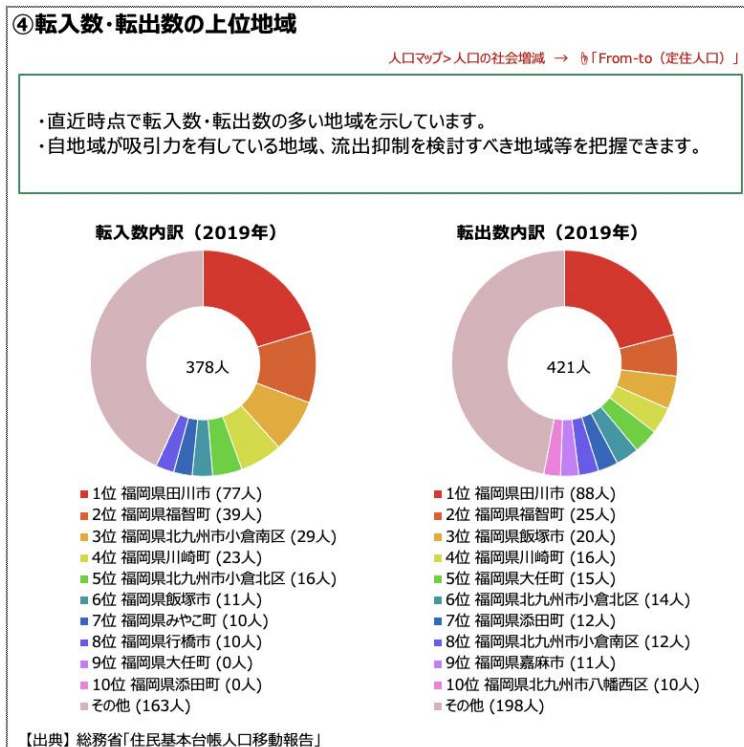
福岡県全体の男女人口比は 89.83:100 と 10 ポイントほど女性が多い。これまでは香春町も近い割合であったが、将来予測の男女人口比はあまりなくなりつつある。女性の平均年齢が男性に比べ高いことを考えると、将来的に町外への流出多くなることが考えられる。

③年齢階級別純移動数の時系列推移

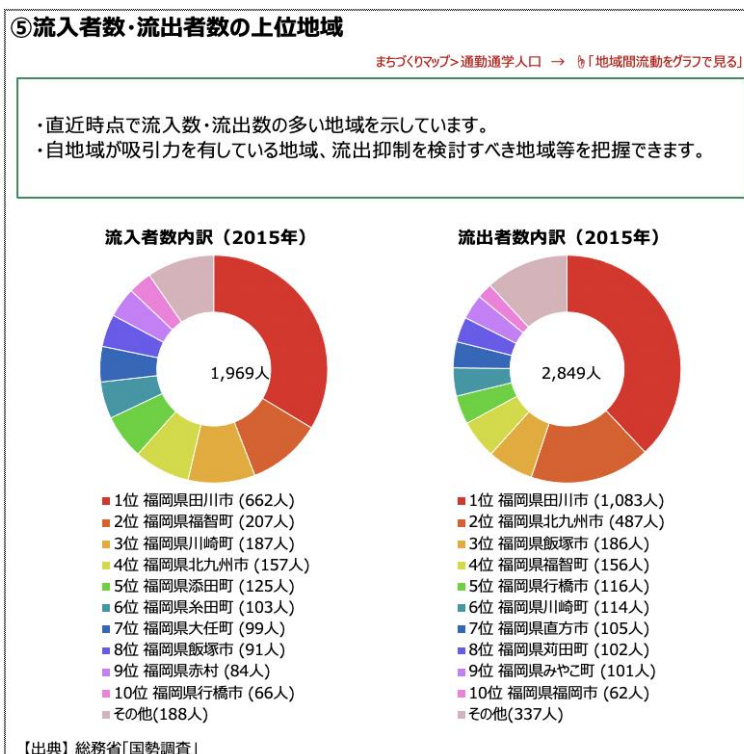


香春町内に高等教育機関がないことにより15～19歳、20～24歳階級が激減するものの、次の階級で戻る傾向にあるため一定量の働き場所等があると考えられる。

④転入数・転出数の上位地域



⑤流入者数・流出者数の上位地域



転入、転出者数並びに流入者数に関しては近接する田川市、福智町が多く、普段からの人の往来が感じられる。流出者数を見ると田川市について北九州市が多いことから通勤・通学で流出していると考えられる。

○香春町の産業の全体像

①企業数



（企業数(企業単位):264 社）

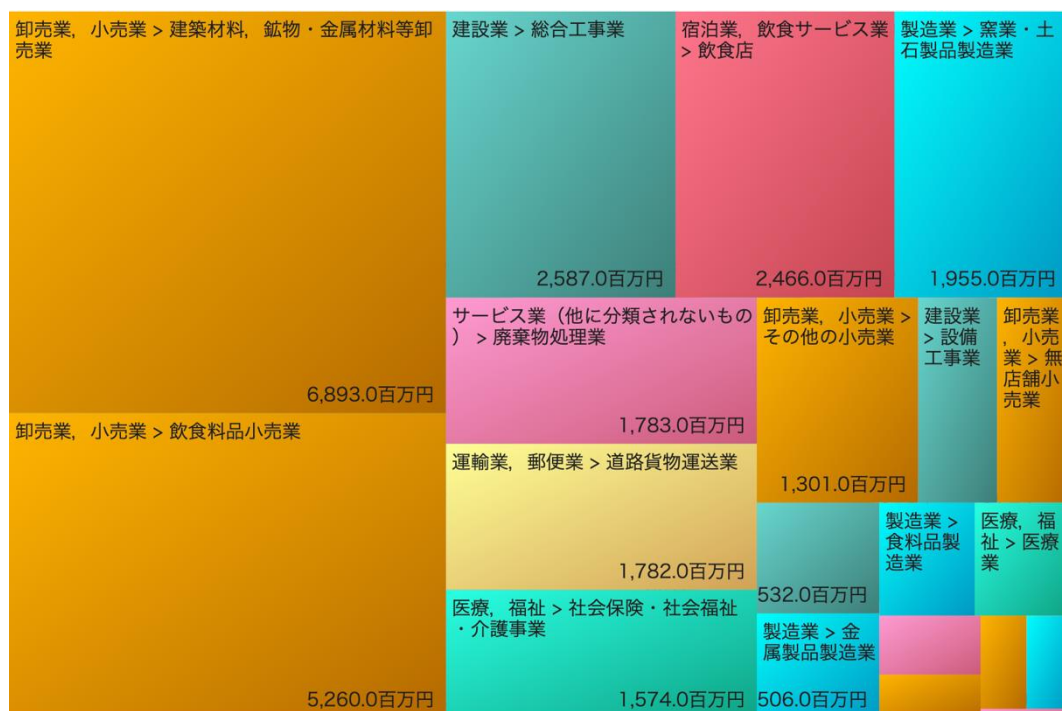
②従業員数



（従業者数(企業単位):2,336 人）

企業数では飲食料品小売業、理容・美容業、総合工事業、窯業・土石製品製造業が多く、従業員数は介護事業や飲食店など人的リソースが必要な業種も多くなってくる。

③売上高



(売上高(企業単位): 33,256 百万円)

④付加価値

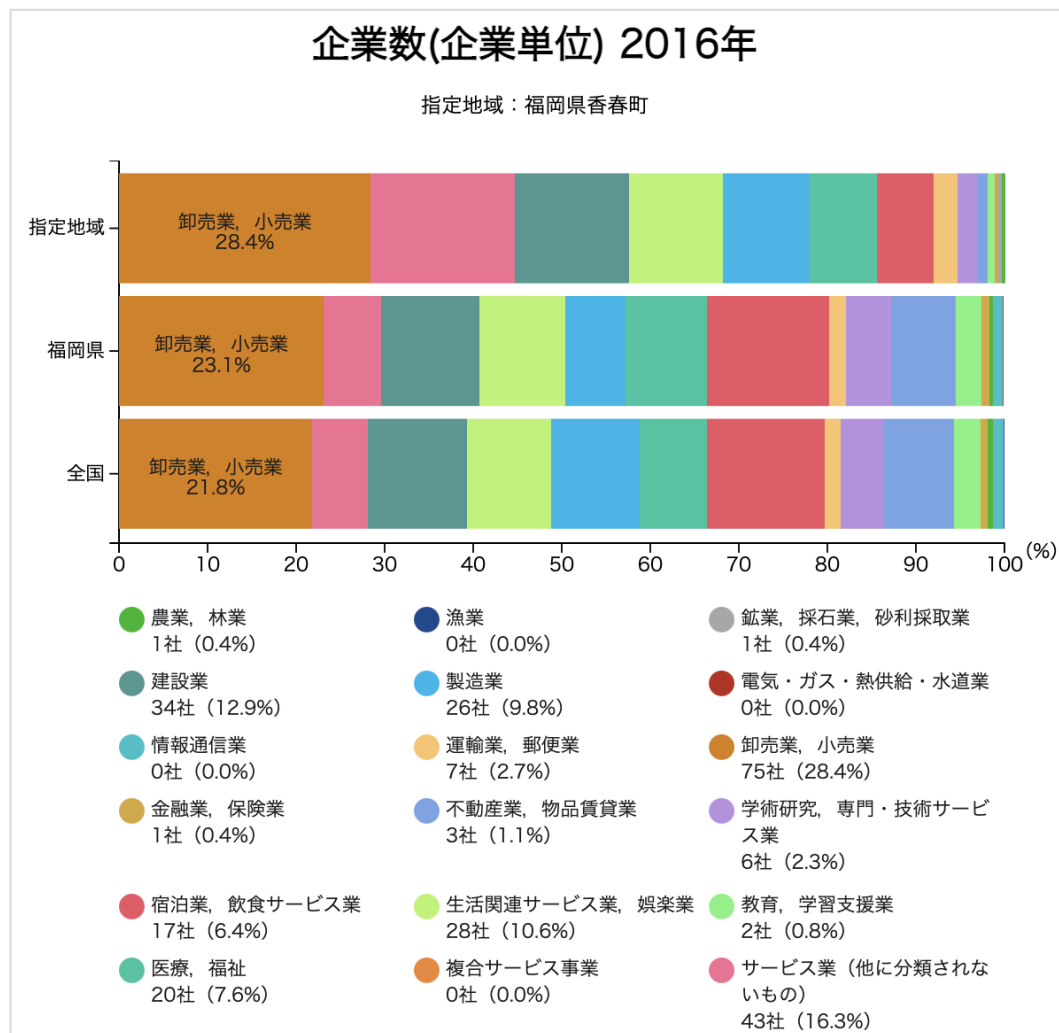


(付加価値額(企業単位): 8,331 百万円)

香春町の産業として飲食料品小売業が担う割合はいずれの側面からも多いことがわかる。更に社会保険・社会福祉・介護事業に関わる人数および生み出す付加価値も高いことから主要な産業だと言える。

○地域の産業構造を全国の産業構造と比較

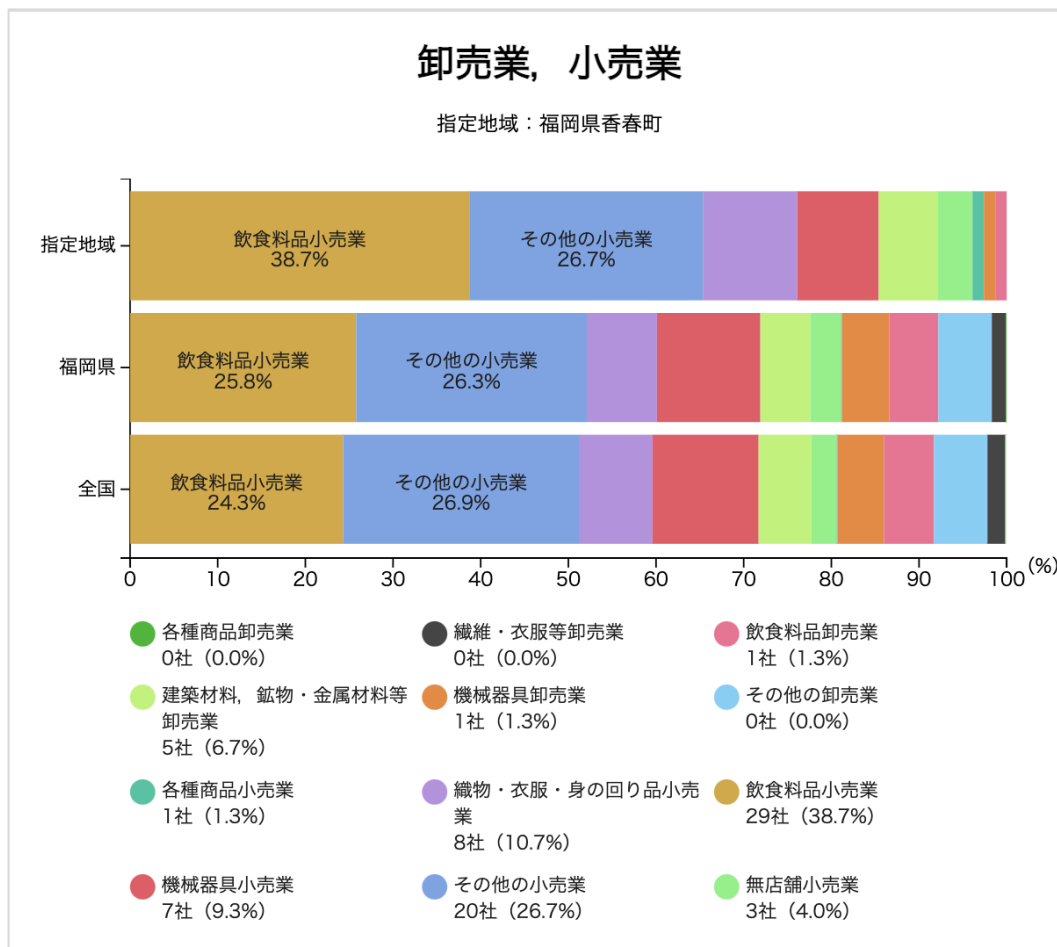
①企業数



香春町の企業数の特徴として、全国および福岡県全体の企業構成と比べ、卸売業・小売、サービス業、建設業、生活関連サービス業、製造業の企業数が多いことがわかる。比較的生活に密着した企業が多いことから居住に適した傾向が見て取れる。その反面学術研究・専門・技術サービス、教育、学習支援業が少ないことから若い世代の定着には思わしくない状況にある。

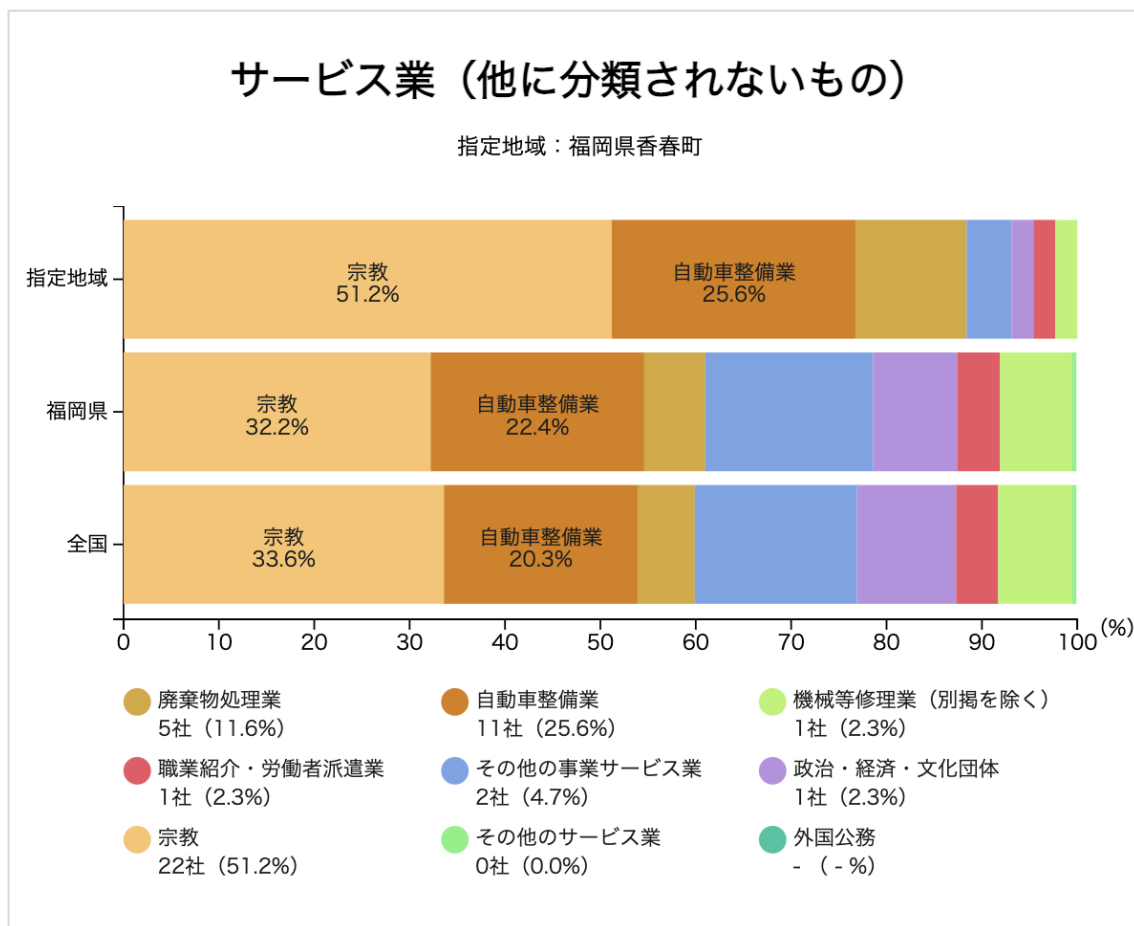
○業種別構造と比較

①卸売業、小売業



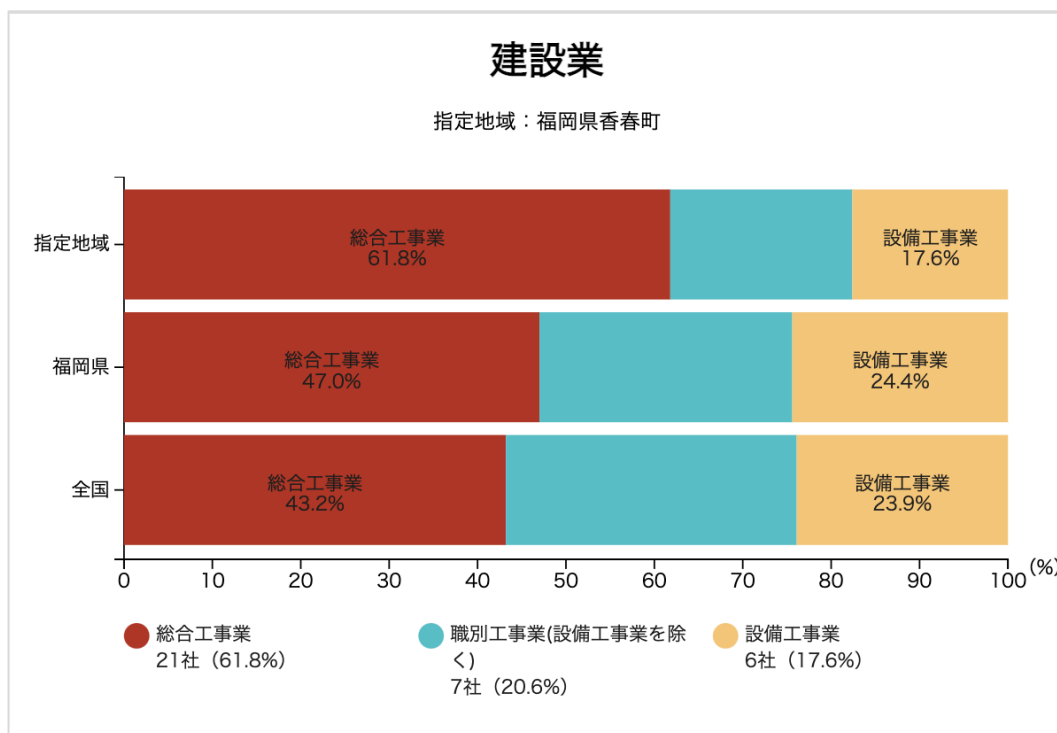
飲食料品小売業に関して全国および福岡県内の比率に比べると1.5倍ほどあることが特徴的である。同じ生活必需品でもある繊維・衣服・身の回り品小売の比率も全国および福岡県内のそれと比べると大きいのも特徴である。

②サービス業（他に分類されないもの）

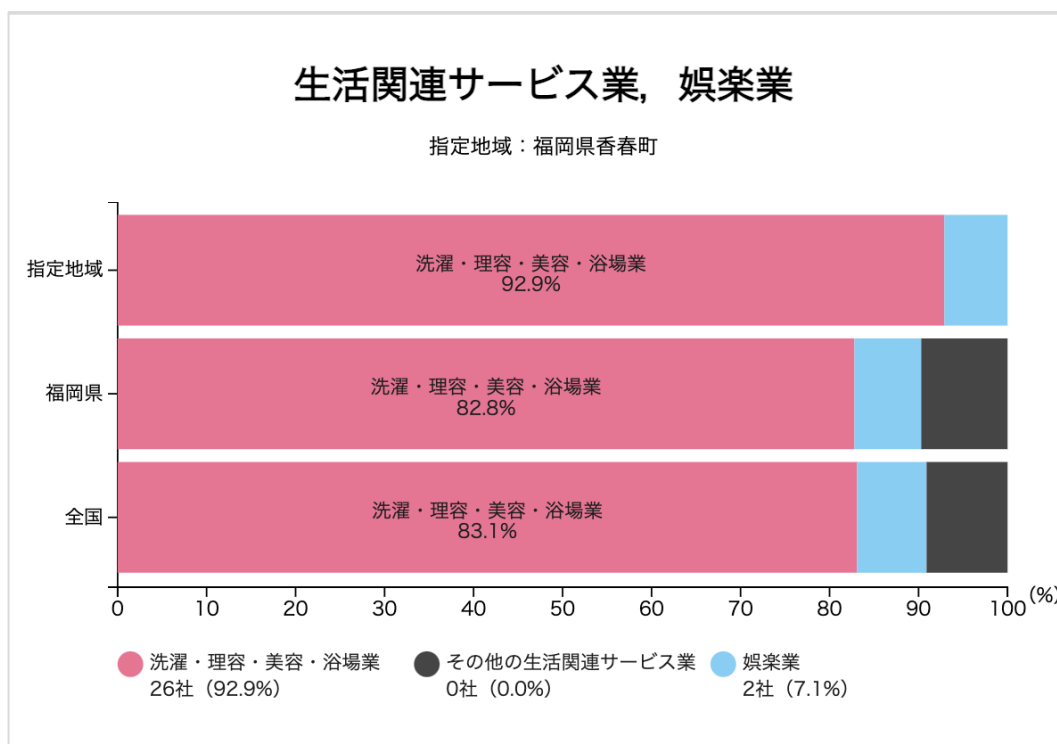


寺社仏閣の宗教を除くと自動車整備業は全国と比べ 5.6%、福岡県全体と比べ 3.2%多いことが特徴である。建物サービス業や警備業などが属するその他の事業サービス業や機械等修理業は低いこと特徴である。

③建設業

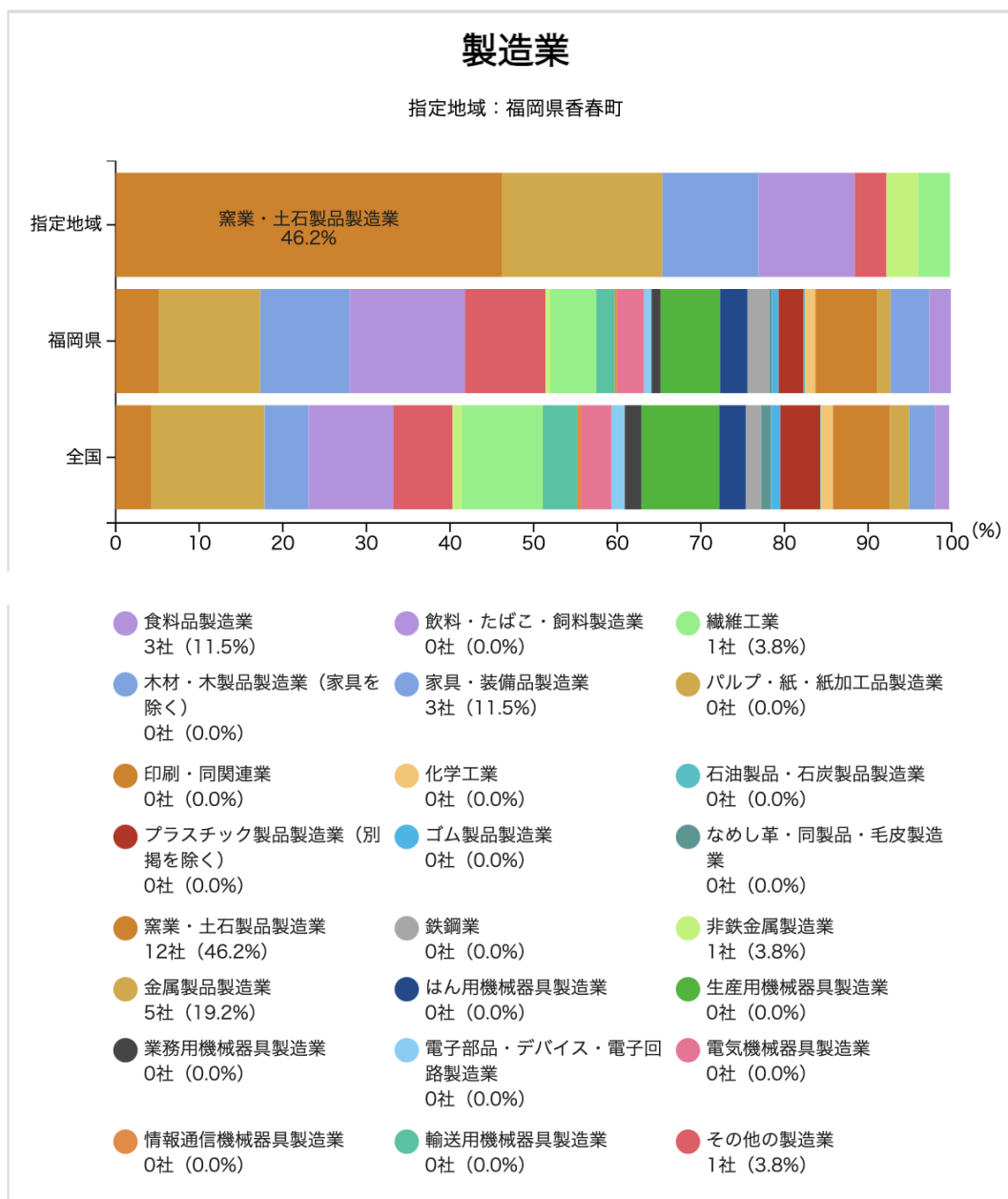


④生活関連サービス業、娯楽業



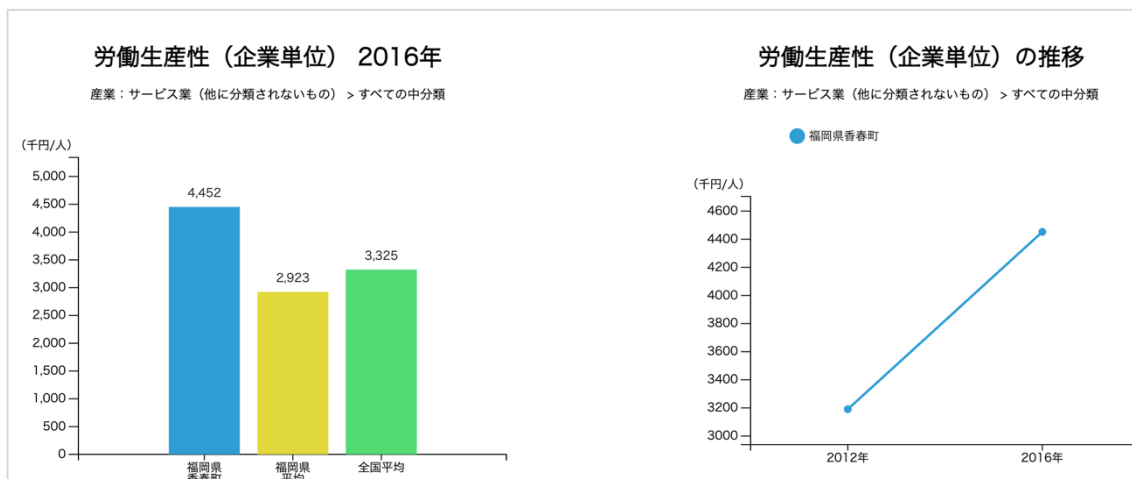
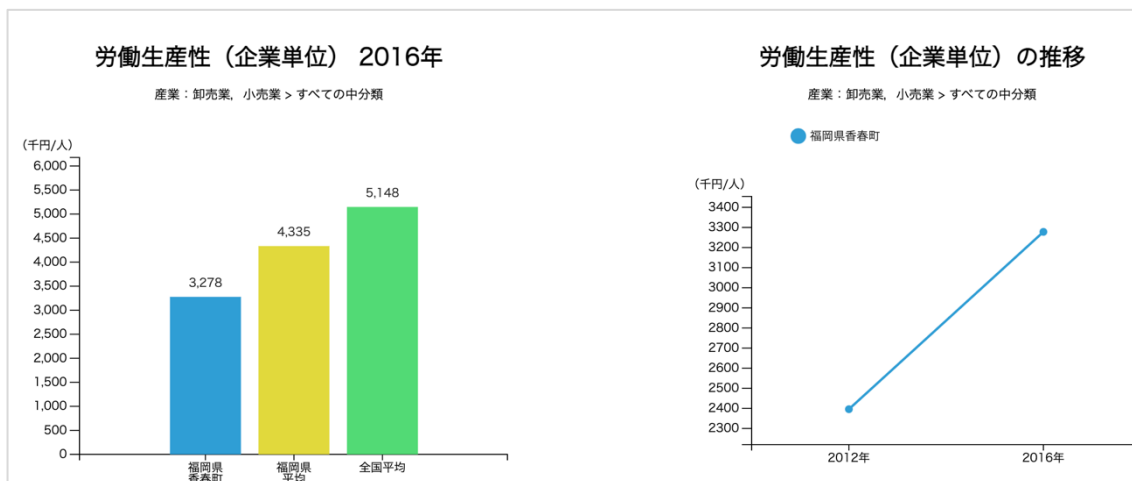
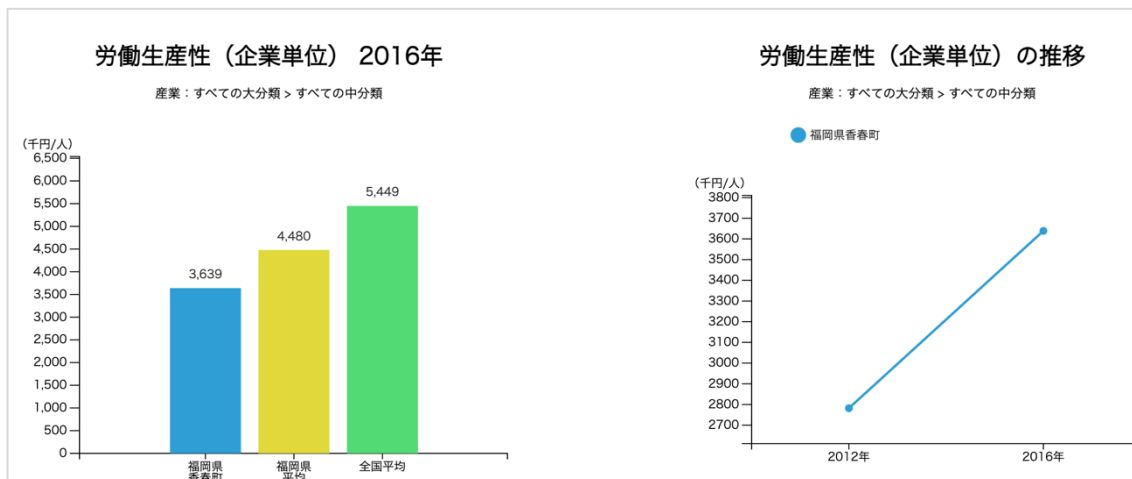
理容室、美容室が比較的多い地域である。

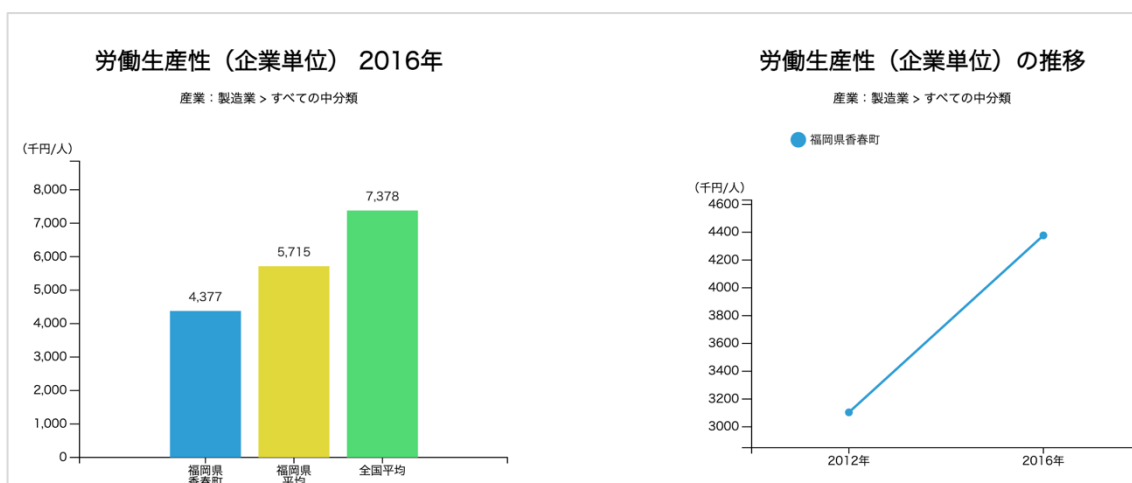
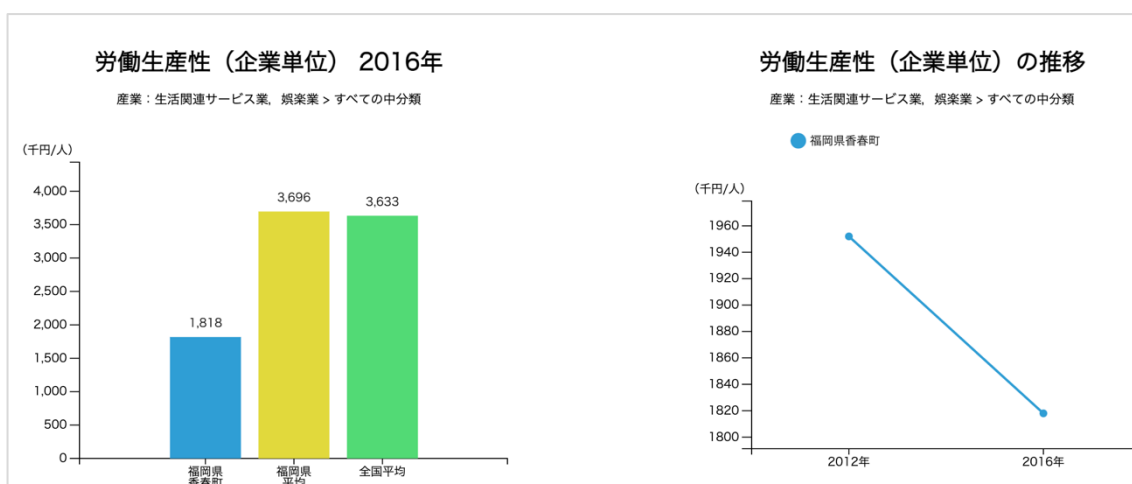
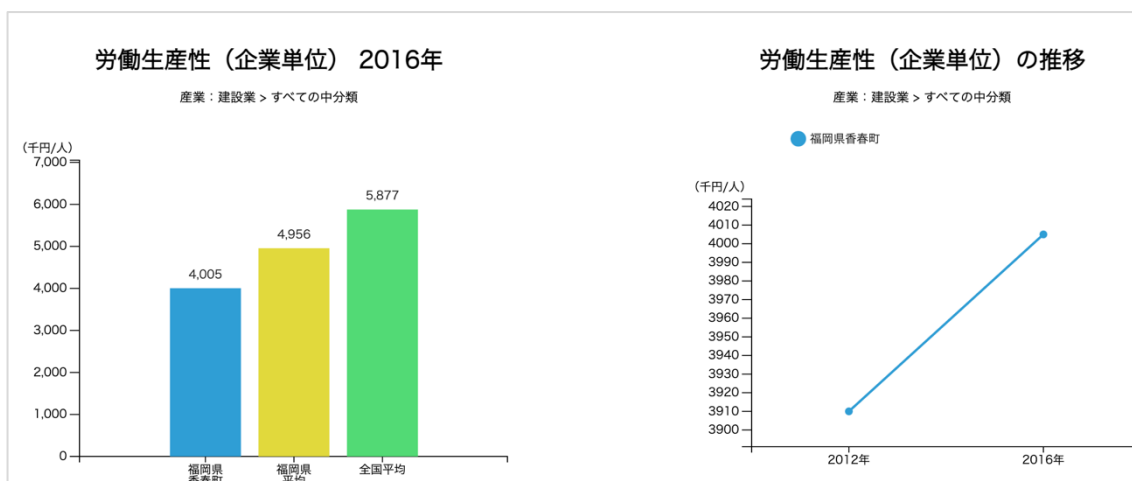
⑤製造業



窯業・土石製作業に関して全国および福岡県内の比率に比べると圧倒的な比率を有している。香春町の大きな特徴の1つとして街の活性化に活かしていくことも検討すべきである。その反面、はん用機械、生産機械器具、業務用機械器具、電気機械器具など工業製品に関する事業が少ない。北九州市や苅田町など港湾を有した工業地帯から近い立地であるにも関わらず地の利を活かしきれていない印象がある。

○労働生産性





全体および卸売業・小売業、建設業、生活関連サービス業、製造業に関しては労働生産性が全国平均および福岡県平均より低い。特に生活関連サービス業に関しては 1/2 近くと大きく引き離されている。しかし、サービス業に関しては全国平均の 1.3 倍、福岡県平均の 1.5 倍と労働生産性が高く、多くの付加価値を生み出せていると考えられる。

〇まとめ

産業	売上高（企業単位） 実数（百万円）	付加価値額（企業単位） 実数（百万円） （特化係数）
建築材料、鉱物・金属材料 等卸売業	6,893	 242 (1.46)
飲食品小売業	5,260	 955 (4.49)
総合工事業	2,587	 685 (2.06)
飲食店	2,466	 692 (3.73)
窯業・土石製品製造業	1,955	 700 (12.28)

産業	労働生産性（企業単位） 実数（千円/人） （特化係数）	従業者数（企業単位） 実数（人） （特化係数）
建築材料、鉱物・金属材料 等卸売業	 7,551 (0.90)	 42 (1.40)
飲食品小売業	 2,487 (0.90)	 385 (3.24)
総合工事業	 4,536 (0.71)	 151 (1.93)
飲食店	 2,270 (1.22)	 305 (1.90)
窯業・土石製品製造業	 4,292 (0.62)	 168 (13.57)

課題の整理

売上高および付加価値額の更なる向上は必須であると考えられる。特に特徴的な産業である窯業に関して販路拡大、ブランディングを行うことで地域の特色も示せると考えられる。具体的には町内外に計画的かつ一定規模のプロモーションを行い知名度の向上が必要と考える。

労働生産性に関して全国平均より低い業種が多いことから、設備投資の促進を考える必要がある。

地域経済動向調査

報 告 書

令和2年12月

香 春 町 商 工 会

福岡県田川郡香春町大字高野 1008 番地

電話 0947-32-2070

FAX 0947-32-7397